



練習後に笑顔を見せる矢野さん

輝いています

全国JOCジュニアオリンピック100m平泳ぎ優勝

ひと

の たくと 矢野 拓都 さん

世界の舞台で戦いたい

水

泳全国JOCジュニア
オリンピック年別で

2度の優勝、昨年9月の県新人戦では団体戦と個人戦合わせて3冠を達成した春日部共栄中学1年生の矢野拓都さん（中央7丁目・12歳）。同年代の平泳ぎ選手の中ではトップクラスの実力を持ち、全国のライバルたちと切磋琢磨しながら世界を目指しています。

し、持ちまえの負けん気を発揮し、毎朝の筋力トレーニングに加え、足だけ、腕だけで泳ぐ練習により体を鍛えてフォームを安定させると、5年生の同大会・平泳ぎ50mで優勝。個人種目で初の全国制覇を成し遂げました。その後も数多くの大会に出場。ときには負けることもありましたが、その度に反省点を見つけ、練習の泳ぎ一本一本に集中して修正し、成長を続けてきました。

昨年夏のジュニアオリンピックは、新型コロナウイルスにより中止となり、代替として公式大会の記録で競う通信大会に。「全国の強豪がどんなペースで泳いでいるか分からず不安でした」と話す矢野さんですが、結果は100m平泳ぎで優勝、50m平泳ぎでは準優勝。どちらも大会新記録を出し、年齢別の優秀選手に選ばれるほどの成績を収めました。

夢はオリンピックに出場すること。「水泳は努力した分だけ、タイムとして結果に出ます。勝ちも負けも全部糧にして強くなります」と、意気込む矢野さん。これからのどんな高い壁でも乗り越えていく強い気持ちを胸に、夢の舞台への道を切り開いていきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.56—

本図は丑年の「有卦」という縁起絵です。当時、陰陽道の良い「有卦」に入ると吉年が7年続き、次の5年はその逆の「無卦」となると考えられていました。そして、有卦に入った幸運な人はこのように「有卦絵」を飾るなどしていました。ここでは牛を先導する「福女」、牛の背に乗る大黒天の「袋」、中国の仙人・張果老のように「瓢」から飛び出して天空を翔ぶ「福祿寿」と、全て福に通じる「ふ」がつく縁起の良いものが描かれています。



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁斎筆
「牛に乗る大黒と福女」
大判錦絵縦二枚繋

河鍋暁斎記念美術館 開催中

「丑年の寿ぎ—新春祝画と七福神—」展
同時開催・特別展「故・堀田操 寄贈作品」展

開館 = 午前10時～午後4時
休館 = 木曜日、毎月26日～末日、
年末年始
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は
学生証をご提示ください
詳細 = 同館 ☎441-9780



最新の情報は
美術館のホーム
ページをご
参照ください



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ 暁斎
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)